



優秀賞 (居室部門)

タイトル NAKANO—AN 映画監督思索のための書齋空間

タイプ 持家共同建

講評

ありがちなマンションのリビングが、ミニマムでスタイリッシュなインテリアへと変貌している。映画監督の家ならば「思索のための書齋空間」としてのユニークでスピリチュアルな提案がもっとあっても良かったのでは？

リフォーム前後の写真



リフォーム前



3



4



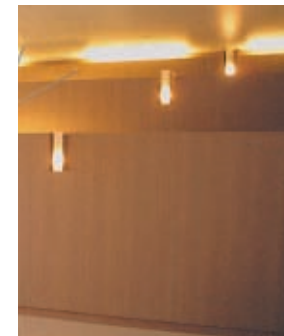
1



2



5



6

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

3LDKマンションの改装である。有名映画監督である施主が、日々の喧騒から逃れ、気持を集中して仕事に取り組めるような「小宇宙」としての書齋を図った。

効率よい書架の配列をデザインのとりかかりとし、3列に並べた書架のおもて側は内容物を見せずすっきりとさせた。アクセントとしてのTOFU(トーフ)というヤマギワ製照明器具を一個ずつ配し「映写」を連想させるように工夫している。入り口踏み込みの半透明スクリーンはSUSワイヤーに樹脂コーティングしたものを用いている。

特に配慮した住宅性能：換気及び通風性能

データ

所在地	東京都中野区	構造/築後年数	鉄筋コンクリート造/27年
該当工事面積	89.12 m ²	該当部分工事費	約1,200万円
居住者構成	2人(大人<15歳以上)	2人(子供)	人 ペット
設計者	(株)JWA建築・都市設計	担当者	渡辺 純
施工者	(有)加藤工務店	担当者	加藤 武仁

リフォーム前

リフォーム後



before



after